

商業部会長報告

～キャッシュレス決済導入セミナー～

キャッシュレス決済導入セミナーを8月5日に秋田市中心市民サービスセンターにおいて開催し、33名が出席しました。

秋田商工会議所、秋田市、東日本旅客鉄道(株)、(株)秋田ジェーシービーカード、フィデアカード(株)、(株)ジェイ・エム・エスの6事業者で共催し、キャッシュレス決済の推進へ向けた最新動向を市内の中小事業者へ情報提供しました。



開催の様子

【セミナーの内容】

(1) キャッシュレス決済の導入事例紹介 ※動画

- ・ (株)ジェイエムエスより、秋田テレビで放送された番組を紹介。導入した横町大衆酒場アケガラス（秋田市大町）では、お客様の約4割がキャッシュレス決済を利用している。また、レジ締め作業等の時間が短縮され、業務効率化に繋がっている。

(2) マイナンバーカードによるマイナポイント事業

- ・ 秋田市産業振興部産業企画課より、QRコード統一規格「JPQR」の動きと併せて説明。今回の事業では事業者側の登録手続きは不要。事務処理は消費者、決済事業者および国の3者間で完結するため、事業者はキャッシュレス決済への対応だけで参画できる。
- ・ QRコード統一規格「JPQR」により、これまでPayPayやLINEPayなど、導入する決済手段毎に必要な個別契約が不要となり、包括契約が可能となる。

(3) 交通系電子マネー「Suica」の推進

- ・ 東日本旅客鉄道(株)が説明。世界で人気のガイドブックが選ぶ旅行先の世界3位に東北が選出されたものの、「クレジットカードで払えないところもあるので注意」と紹介されたことをきっかけに、来年4月から開始する東北デスティネーションキャンペーンに合わせSuicaの普及を進める。秋田では3月よりeチケットサービスが開始されチケットレスでの新幹線利用が整備された。また、新幹線からのシームレスな移動についても検討中であり、岩手県では来年春から地域連携ICカードサービス（地域版Suica）が開始予定である。

(4) キャッシュレス決済端末機の無償導入

- ・ (株)ジェイエムエスが説明。キャッシュレス決済は①クレジットカード、②電子マネー、③デビットカード、④QRコード決済に大別され、提供する端末機は①～③まで対応が可能。
- ・ 従来の端末ではルーターからレジまでの距離などが課題となり、導入が見送られるケースもあったが、現在はiPadやiPhoneを介して無線で決済可能な端末が提供されている。
- ・ すべての端末を無償提供するが、無線端末機のみロール紙（レシート）代が有償となる。
- ・ 当社では5日毎に精算する「早期払いサービス」を提供しており、決済後5～10日以内に入金されるため、資金繰りの心配も少ない。

情報提供後の質疑応答では、参加者から「入金の際の振込手数料はどちらが負担するのか」という質問があったのに対し、(株)ジェイエムエスは「すべて当社で負担する」と回答されました。

以上が商業部会からの報告です。